

中村敬一客員教授 特別講義

1. 日 時： 12月23日(火)17:00～18:30
2. 場 所： K-603教室 聴講：学内・学外ともに可
3. 対象学生(必修)： オペラ研究BⅡ 受講生
4. 講師紹介： 中村 敬一 客員教授

日本のオペラ演出家。

声楽家達がオペラの舞台に立つために何が必要か、作品の解説の仕方、演技の基礎、など、若い声楽家達にオペラの指導をしている。

1989年文化庁派遣在外研修員としてウィーン国立歌劇場でオペラ演出を研修。
二期会公演「三部作」で1995年ジローオペラ、新人賞を受賞。

2000年、「沈黙」で新国立劇場デビュー。2001年ザ・カレッジ・オペラハウス公演
「ヒロシマのオルフェ」で大阪舞台芸術奨励賞を受賞。

2003年にはザ・カレッジオペラハウスで、再び松村禎三氏の「沈黙」を演出。
この公演は大阪文化祭グランプリを受賞、音楽クリティック・クラブ賞を受賞。
このプロダクションは2005年度新国立劇場地域招聘事業の第一回作品に選ばれ、
新国立劇場で上演。その大阪凱旋公演が、文化庁芸術祭大賞を受賞という快挙を
果たすのに大きな功績となった。

現在、大阪音楽大学客員教授、国立音楽大学招聘教授、洗足学園音楽大学客員教授、
常葉大学短期大学部音楽科客員教授、大阪教育大学講師、沖縄県立芸術大学講師。

オペラの演出の他、オペラの台本も手がけ、2002年国民文化祭鳥取で宮沢賢治原作、
新倉健作曲「ポラーノの広場」の台本も高評を得ている。他に松井和彦作曲「笠地蔵」
「走れメロス」、新倉健作曲「窓～ウィンドウズ」の台本もある。

5. 講義概要：

オペラのステージに立つには何が必要か！
オペラハウスのある大学で学ぶ学生たちの過去と未来。